市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年5月2日（木） 15時30分～17時00分

場 所：渋谷学習センター310会議室

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：6人

○参加者からの意見等

【意見】

- ・ 大和市も家庭用の耐震シェルターや防火シェルターの設置助成を検討していただきたい。
- ・ 大和市が災害時相互応援協定を結んでいる高岡市では、能登半島地震後の液状化被害が大きく、罹災証明の発行に時間が掛かっていたので、大和市が被災した場合は、迅速な罹災証明の発行に努めて欲しい。

【市長】

- ・ ご意見として関係課と情報を共有させていただく。

【意見】

- ・ 札の辻2号公園にトイレと防災倉庫を設置することについて、どこに相談すればよいのか教えて欲しい。
- ・ 札の辻交差点から大辻橋東側の交差点に下る道路（中福田南庭線）について、歩道の自転車通行が禁止されており、車道を通行する自転車と車がギリギリの距離で危険である。
- ・ 歩道の段差をなくして、街路樹や植栽帯をなくせばよいのではないか。

【市長】

- ・ 札の辻2号公園のトイレ設置について、今年度工事を始め、令和7年度に完成する予定なので、もう少しお待ちいただきたい。
- ・ 地域として防災倉庫を公園内に設置することを要望されるのであれば、公園管理事務所に相談していただきたい。
- ・ 道路の安全については、色々な声があるので、本日のご意見は参考として所管課と共有させていただく。

【意見】

- ・ 下福田中学校付近の引地川について、川の中に木や雑草が生え、ごみが引っかかるなど見栄えがわるいので、定期的に綺麗にして欲しい。

【市長】

- ・ 自然環境を大切するという点で、自然なままがよいという考え方もある。
- ・ ある程度人が手を入れ、治水をしたうえで、人と自然が調和することが大事である。
- ・ ご指摘の地点の河川管理は神奈川県になるので、ご意見としてお伝えする。

【意見】

- ・ 新総合計画の「人とつながる」というコンセプトはとてもよいと思う。
- ・ 同世代だけのつながりが多いので、幅広い世代間でつながれるよう、学校の中のつながりだけでなく周辺の地域の方とのつながりも生まれると、地域の活性化や防犯にもつながるのではないか。
- ・ 大和市も、こども家庭庁の「こどもまんなか」に賛同して「こどもまんなか社会」の実現を目指しているとのことだが、保護者目線の施策が多いように感じており、子ども目線で考えることも必要ではないか。
- ・ 保育園に夜まで長時間預けられるというのは、保護者目線ではありがたいことであるが、子ども目線で考えると保護者との時間が少なくなっている。
- ・ 不登校の子どもの居場所として引地台中学校の分校があるが、行き渡りで月に1日か2日程度の子どもは対象にならない。民間のフリースクールなども活用して、こういった子どもの居場所、選択肢が多くなることを望む。
- ・ 不登校を未然に防ぐため、お忙しい先生方の代わりに、子どもの発達について学んだ地域の方にお手伝いいただくと、先生方の負担軽減にもつながるし、子どもも安心して学校に通えるようになるのではないかと考える。
- ・ 八王子市の学校サポーター制度をぜひ参考にさせていただきたい。
- ・ つきみ野中学校の正門前、田園都市線沿いの道を通学時間帯に猛スピードで走行する車があり、つきみ野交番に相談したが対応できないと言われた。
- ・ 市として何か対応をお願いしたい。

【市長】

- ・ 朝の挨拶運動で市内小中学校を訪問しており、現場の状況を確認している。
- ・ 現場は定年された先生の力をかりてギリギリで回している状態である。
- ・ 支援の必要なお子さんや不登校のお子さんへの対応に関しても、先生方の人手不足が影響しており、先生方の負担を減らしたいと考えている。
- ・ 地域の方にボランティアで協力していただく場合も、担い手が少ないという話も聞いているので、どのような形がよいのか検討していく。
- ・ 児童クラブで預かるのは、保護者は助かるが、子ども目線で考えると楽しくないという場合もあるので、遊び方、運動の仕方など、身体を動かすことを導いてくれる人も必要だと考えている。
- ・ 今年の夏休みに、横浜Fマリノスに協力いただき「こどもの居場所づくり事業」を実施する。子ども目線で有意義に過ごせるようにしていきたい。
- ・ つきみ野中学校付近の自動車については、市が交通規制はできないが、市としてできることがあるのか、対応の可否について検討していきたい。
- ・ また、大和市には道路整備計画がないので、歩行者の安全などについての視点も入れながら、計画を策定していく予定である。

【意見】

- ・ 防災に関して、防災対策として用意して保管するのではなく、普段の生活で使っている物を、非常時にも使うようにするフェーズフリー対策を提案する。

- ・ 今回の応募はLINEの情報がきっかけで、これも普段から使い慣れているLINEだから、初めて応募するタウンミーティングでも気軽にできた。
- ・ 市の事業や制度に触れる際に、入り口がLINEに集約されていると、とても分かりやすくなるのではないかと。
- ・ 健康の「康」を「幸」に変え、ウェルビーイングに向けた市政運営をするのは、究極の目標であるが壮大なので、どこに焦点を当てていくのかを明確にするため、EBPMの視点、客観的なデータに基づいて具体的な目標も定めていって欲しい。
- ・ 現在、子育て中なので、大和市の子育て政策についても注目している。
- ・ 先ほどの説明で人口が微増で推移するとあったが、国全体のトレンドとして人口減少していく中で、自治体間で住民の取り合いが起こっている。
- ・ こういう状況においては、もっと子育てに力を入れている感じを打ち出すと子育て世代に響くと思う。総合計画は大きなものであるが、特に注力していく部分については、踏み込んだことを明記するべきである。

【市長】

- ・ 総合計画の基本構想は大きな方向性、基本計画や実施計画、さらに各事業分野における個別計画などで具体的な施策や事業を明確にしていく。
- ・ 魅力ある街づくり、人が集まる街、駅前を稼げる街にすることで、若い世代に選ばれるようにしたい。
- ・ 一方で住宅街は暮らしやすさを打ち出して、この2面性を大事にしていく。
- ・ 既存の施設や未開発の土地の有効活用、未開発の大きな土地は多くないが、商業施設ではなく、次世代の産業を誘致することで若者世代を呼び込みたい。
- ・ 大和市の街づくりに大きな影響があるのが、瀬谷区で開催される「GREEN EXPO」で、高速道路ICや周辺道路の整備などが予定されている。
- ・ 「GREEN EXPO」の後には、テーマパークの開設も予定されており、大和市の街づくりもこの機を逃さないようにしていく。
- ・ 街づくりと並行して、若者世代を呼び込むためのイベントも考えており、大和駅の東西に延びるプロムナード、駅前であれだけの空間が広がっているところは少ないので、有効活用していく。
- ・ 人が集まる街、企業を誘致するという視点で考えると、非常にハードルの高い夢の話であるが、厚木基地を岩国錦帯橋空港のような形で軍民共用化についても考えている。思っているだけでは始まらないので国や県を巻き込んで発意していきたい。
- ・ PSメールは今年度末で終了させてLINEに集約するので、LINEを積極的に活用し情報発信にも力を入れていく。

【意見】

- ・ 行政経営の方針の中で、以前のトップダウンから、ボトムアップ方式に転換するというのは大賛成である。
- ・ 市長が職員と同じ位置で意見を聞きながら、行政経営をすることはとても大

切であり、職員側も自覚を持って積極的に意見を伝えることを要望する。

- ・ 福田相模原線が整備の進展が見られないが、事業の今後についてお聞かせ願いたい。

【市長】

- ・ ボトムアップは重要であり、職員の声、市民の声に耳を傾けていく。
- ・ タウンミーティングも市民の声を聴く場として重視しており、今回は新しい総合計画の策定に向けて実施したが、総合計画が出来たあとも継続して実施していく。
- ・ 福田相模原線整備の遅れは、これまで近隣市と連携が図れていなかったことも要因の一つと考えている。
- ・ 接続に関係する藤沢市、綾瀬市とも連携を進めていくが、完成までには時間が必要な状況であることをご理解いただきたい。
- ・ 寸断されている都市計画道路が開通することは、防災や物流の面でも重要なので、完成に向けて努力していく。